



被爆80周年
《Piece of Peace》
～平和のかけら～



ひろしま国際平和文化祭
HIROSHIMA FESTIVAL



花と緑と音楽の
おもてなし



©武藤章



©井村重人



©BAKI

©Géza Anda-Foundation/
Dmitry Khamizin

《春》5.10 [土]
2025 15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 シェン・イーウェン
(第2回ひろしま国際指揮者コンクール 優勝)
ピアノ 上原彩子

グリムカ: 歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番変ロ短調作品23
ブラームス: 交響曲第1番ハ短調作品68

《秋》11.8 [土]
2025 15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 沼尻竜典
ピアノ 鈴木愛美
(第12回浜松国際ピアノコンクール 優勝)

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15
ショスタコーヴィチ: 交響曲第1番ヘ短調作品10

《冬》2.28 [土]
2026 15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 デイヴィッド・レイランド
ピアノ イリヤ・シュムクラ
(第16回ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール 優勝)

ショパン: ピアノ協奏曲第1番ホ短調作品11
シューマン: 交響曲第1番変ロ長調作品38「春」

広響
名曲コンサート

音楽の花束 〈春-秋-冬〉

広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5 (平和記念公園内)

料金(1回分)

SY5,000(ペア¥8,000) AY4,000 BY3,000 (学生¥1,500)

※税込・全席指定 ※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

あなただけのマイシート

コンサート会員のご案内

受付
5/19
まで

SY12,000 AY9,600

名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすです！
シリーズ全3公演を同じお席でご鑑賞いただけます。
お申し込みは広響事務局までお電話ください。

2024国際コンクールの 優勝者を迎えて

「名曲」-それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。

名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。

2025年度は2024年に開催された国際コンクールから、
広島と浜松、チューリッヒの各コンクールの優勝者を迎え、

歴代の作曲家たちの「第1番」のコンチェルトとシンフォニーで纏めました。
才能あふれる若きアーティストたちの華やかなステージにご期待ください！

チケット発売日

[春] 2025年2月21日(金) [秋] 2025年5月12日(月) [冬] 2025年11月10日(月)

チケット取扱い

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。
公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

主催: 広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社
特別協賛: 中国電力 協賛: 株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会

お問い合わせ

広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間/平日 9:00~17:20]

<http://hirokyo.or.jp>

広響公式ホームページ▶



広響
名曲コンサート

音楽の花束 〈春-秋-冬〉

出演者プロフィール

〈春〉



指揮: シェン・イーウェン Shen Yiwen, Conductor

中国の指揮者、作曲家、ピアニスト。香港中文大学(深圳)、天津ジュリアード音楽院で教鞭をとっている。ウィーン国際指揮コンペティション「ウィーン楽派」第1位、第2回ひろしま国際指揮者コンクールで第1位及びオーケストラ賞、聴衆賞、細川賞を受賞。これまでに深圳交響楽団、中国国立バレエ交響楽団、シレジア・フィルハーモニー、北チェコ・フィルハーモニー、カルロヴィ・ヴァリ交響楽団、マヴ交響楽団、マグナ・グラエキア管弦楽団、ロイヤル・カメラータ、ブカレスト・フィルハーモニー、ブカレスト交響楽団、ブラショフ・フィルハーモニー等、世界の主要オーケストラを指揮した。

彼は数多くの作曲賞を受賞し、ミネソタ交響楽団、ナッシュビル交響楽団、アメリカンシンフォニー、オールパニ交響楽団、中国の多くのオーケストラの初演でも演奏された。全編バレエ「鶴の呼び声」は、中国国立バレエ団の委嘱により中国の30以上の都市、欧州、及び北米でツアー公演された。



ピアノ: 上原彩子 Ayako Uehara, Piano

第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに、ヤノフスキ、ノセダ、ルイーゼ、ラザレフ、ベトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、尾高忠明、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「ラフマニノフ 13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤」等4枚がリリースされている。東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。令和4年度文化庁長官表彰受賞。公式HP <https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>

©武藤章

〈秋〉



指揮: 沼尻竜典 Ryusuke Numajiri, Conductor

神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。ベルリン留学中の1990年、ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。ドイツではリュベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリュベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。16年にわたって芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミハエル・ハンペの新演出による《ニーベルングの指環》を上演、空前の成功を収めた。2023年4月より桂冠芸術監督に就任。14年にはオペラ「竹取物語」を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受賞。



ピアノ: 鈴木愛美 Manami Suzuki, Piano

2024年第12回浜松国際ピアノコンクール第1位および室内楽賞、聴衆賞。
2023年第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞。
2023年第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)。
2002年大阪府生まれ。4歳よりピアノを始める。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を首席で卒業。現在、東京音楽大学大学院修士課程に特別特待奨学生として在学中。第27回フッペル鳥栖ピアノコンクールフッペル部門第1位。第32回宝塚ベガ音楽コンクール・ピアノ部門第4位。ピティナ・ピアノコンペティション全国大会において、第36回C級入選、第42回F級ベスト17賞受賞。第17回「万里の長城杯」国際音楽コンクールピアノ部門中学生の部第1位。2020年度より毎年「東京音楽大学ピアノ演奏会〜ピアノ演奏家コース成績優秀者による〜」に出演。浜松国際ピアノアカデミー2023および2024、2024年第45回霧島国際音楽祭に参加。

©井村重人

〈冬〉



指揮: デイヴィッド・レイランド David Reiland, Conductor

ベルギー出身。モーツァルトの指揮に定評があり、注目される。ザルツブルク・モーツァルト管の副指揮者を経て、2018年からフランス国立メスマ管(旧フランス国立ロレーヌ管)とローザンヌ・シンフォニエッタの音楽監督を務めている。また、2020年にデュッセルドルフ響の「シューマン・ゲスト」、2022年には韓国国立響の音楽監督・首席指揮者に就任した。ベルギー国立管や王立リエージュ・フィルなど自国のオーケストラと定期的に共演するほか、近年はトゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ベルリン・コンツェルトハウス管、都響、京響、大阪フィルなどにも招かれている。オペラにも積極的で、ソウル、ジュネーヴ、アントワープ、ライプツィヒ、ベルリンなどでモーツァルト《魔笛》《コジ・ファン・トゥッテ》《皇帝ティートの慈悲》などのほか、《フィデリオ》《カルメル派修道女の対話》《トスカ》《椿姫》《エフゲニー・オネーギン》《ナブッコ》《サムソンとデリラ》《ホフマン物語》《ファウスト》《真珠採り》《マハゴニー市の興亡》といった作品を指揮している。録音も多く、ゴダールの交響曲第2番やオーバーールのオペラ《水の精》など、演奏機会が稀な作品のCDをリリース。

©BAKI



ピアノ: イリヤ・シュムクラー Ilya Shmukler, Piano

2024年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクールで第1位に輝き、4つの主要部門賞を受賞。これまでにミハイル・プレトニョフ、パーヴォ・ヤルヴィ、マリン・オルソップ、ニコラス・マギーガン、広上淳一、アン＝マリー・マクダーモット、アントン・ネル、デイヴィッド・ラジンスキらと共演。チュリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ヴィンタートゥール音楽院、マリンスキー劇場、フォートワース交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、カンザシシティ室内管弦楽団、バイエルン交響楽団、ニューミュージック・オーケストラと共演した。2022年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでファイナリストに選出され、「モーツァルト協奏曲最優秀演奏賞」を受賞、さらに同年カーネギーホール・デビューオーディションに優勝し、ニューヨークでデビューを飾る。モスクワ音楽院をエレナ・クズネツォワとセルゲイ・クズネツォフの指導の下、卒業。現在はパーク大学(米国)でスタニスラフ・ユデニッチに師事し、研鑽を積む。

©Géza Anda-Foundation/
Dmitry Khamizin